



ごみ出しサポートシールを ご活用ください



市は、ごみ出しが困難な世帯のために、ごみ出しサポートシール事業を実施しています。

これは、市が発行した「ごみ出しサポートシール」をふた付きの容器に貼れば、収集日以外にもごみや資源を出すことができる、というものです。出されたごみや資源は、収集日に収集作業員が収集します。

なお、集合住宅にお住まいの方が本事業を利用する場合、集積所にふた付きの容器を設置する必要があります。建物の所有者や管理者のご協力をお願いします。

●**対象** 高齢者や障害者のみの世帯などご自身でごみ出しが困難な世帯で、介護ヘルパーなどの支援者によるごみ出しを現に受けている世帯、または受けようとする世帯。

●**申請** ごみ出しが困難な世帯をサポートするケアマネジャーや別居の家族などが申請してください。



☎ごみ対策課・内線6751



男女平等参画苦情処理制度

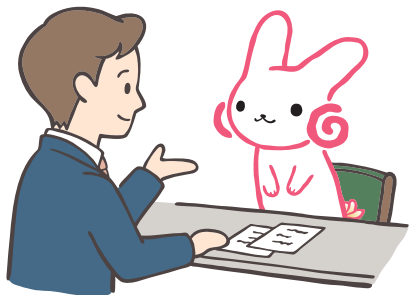


立川市男女平等参画基本条例では、市の施策が男女平等参画の促進に影響を及ぼす場合等に、男女平等参画苦情処理委員に苦情の申し出をすることができるよう、定めています。苦情の申し出があった場合、市長から任命された苦情処理委員が必要な調査を行い、必要に応じて市長に対して是正その他の措置をとるよう勧告します。

●**苦情処理委員**(五十音順) ▶加藤恵津子さん(大学教授)▶須崎伸子さん(人権擁護委員)▶露木肇子さん(弁護士)〔任期は令和10年3月31日まで〕

●**申出書の提出方法** 住所、氏名、電話番号、申出年月日、具体的な内容を書いて、直接または郵送で男女平等推進課〔〒190-0012曙町2-36-2女性総合センター5階〕へ。申出書は市ホームページからダウンロードするか同課窓口で配布しています。

☎男女平等推進課☎(528)6801



「こどもとおとなのはなしあい in 市議会議場」 子どもの提案を募集



やりたいイベント、欲しいものなど、みんなのためになる提案を募集します(応募多数の場合は選考)。9月13日(日)に市議会議場で提案を発表した後は、実現に向けて子どもたち自身が活動します。なお、必要な資金は「ウドラ夢たち基金」(提案が通ったチーム全体で50万円以内)を使うことができます。提案の条件や応募方法など、くわしくは市ホームページをご覧ください。

▶対象=市内在住・在学の小学4年生~18歳▶応募締め切り=6月5日(金)

☎子ども政策課子ども政策係・内線1351



ウドラ夢たち基金イメージ
キャラクター：ウドラ
©UDOLLAND



クリーンセンター周辺の ダイオキシン類調査 環境基準を満たしています

市は、クリーンセンター周辺における大気中のダイオキシン類濃度を測定し、クリーンセンターからの排出ガスによる影響を調査しました。いずれの測定地点でもダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準(1 μ m³中0.6pg-TEQ以下)を満たしています(下表)。

ダイオキシン類調査結果(大気)

単位: pg-TEQ/m³

調査地点	令和7年度					基準値
	5月 測定値	8月 測定値	11月 測定値	1月 測定値	年 平均値	
クリーンセンター	0.0068	0.0064	0.0072	0.0047	0.0063	0.6以下
上砂川小学校	0.0061	0.0069	0.010	0.0068	0.0075	
大山小学校	0.0082	0.0079	0.0094	0.0065	0.0080	
立川市役所	0.0066	0.0060	0.0080	0.0054	0.0065	
昭島市立東小学校	0.0061	0.0067	0.0075	0.0068	0.0068	
昭島市立つつじが丘小学校	0.0061	0.0060	0.0060	0.0066	0.0062	
6地点平均	0.0067	0.0067	0.0080	0.0061	0.0069	

☎クリーンセンター管理係・内線4012

「災害に強い街づくり」を推進

解体工事前の二小旧校舎を活用 災害対処訓練

4月22日から3日間、二小で立川・昭島・八王子の3警察署と第七機動隊、立川市赤十字奉仕団による要救助者の合同救出訓練が行われました。二小は複合施設整備に向けて建て替え中で、解体工事前の旧校舎が訓練で活用されました。実際の建物を使っただけの訓練は貴重な機会です。ボールやハンマーなどを使用して教室のドアを壊して救出をする場面も。また、屋上に取り残された救助者を想定した高低差のある実践さながらの訓練も機動隊により行われました。

一つひとつの動作を確認する隊員同士の大きな掛け声と、救助者に対する優しい声掛けの対比が、一層頼もしさを感じる現場でした。

